総　務　常　任　委　員　会　記　録

令和７年12月23日（火）午前11時27分～午前11時36分（第１委員会室）

○出席委員（８名）

委 員 長	沢井　和宏
副委員長	石山　波恵
委　　員	三浦由美子
委　　員	鈴木　　哲
委　　員	後藤　善次
委　　員	鈴木　正実
委　　員	宍戸　一照
委　　員	半沢　正典

○欠席委員（１名）

委　　員	村山　国子

○市長等部局出席者（なし）

○案　　件

所管事務調査「市民が安心して過ごせる避難所に関する調査」

１　参考人招致について

２　行政視察について

３　その他

午前11時27分　　開　　議

（沢井和宏委員長）ただいまから総務常任委員会を再開いたします。

まず、（１）、参考人招致についてでありますけれども、まず参考人招致についてを議題といたします。

正副委員長に一任をいただいておりました参考人招致について、市民が安心して過ごせる避難所の在り方について把握するため、避難所に関する研究等を行っている大学教授等を候補とすることとしておりました。本日は、正副委員長案を作成いたしましたので、ご説明をいたします。お手元に参考

人招致案をお開きください。

参考人招致につきましては、福島大学災害ボランティアセンターの顧問として、東日本大震災以降、学生と共に避難所支援の活動を行っている福島大学行政政策学類教授、鈴木典夫氏に依頼をしたいと考えております。今般、福島大学に対して参考人招致の依頼をしたところ、大学側より、災害ボランティアセンターの発起人であり、現場経験が豊富な鈴木教授よりご意見を聴取してはいかがかという提案がありましたので、これを受け、正副委員長としましても鈴木氏に依頼したいと考えております。

参考人及び福島大学災害ボランティアセンターの詳細は、１に記載のとおりであります。

２に聴取内容でありますが、市民が安心して過ごせる避難所の在り方についてといたしまして、１番、東日本大震災時の福島大学避難所での体験について、そして２番、避難所の在り方に対する見解について、３番、他団体との連携についての大きく３つに分けて参考人に聴取したいと思います。

３の開催日時については、２月５日木曜日午後１時30分から90分程度を予定しております。

以上の参考人招致案についてご意見がございましたらお願いをいたします。

（後藤善次委員）具体的な集合時間は、これよりちょっと早まるのですか。

（沢井和宏委員長）そうですね。事前に１度委員会を開催して確認する内容もございますので、多分10分ぐらい早くなる。もうちょっと早いかな。

（書記）参考人招致ですが、委員会の開会は１時30分を想定しております。開会後、１度休憩を挟みまして、参考人の方をご案内いたしまして、正式な参考人招致については10分後の１時40分からですが、委員の皆様の集合につきましては１時30分ということで予定のほうお願いできればと思います。

（沢井和宏委員長）分かりました。では、１時30分ということでお願いしたいと思います。

当初、別な方をリストアップしておったのですけれども、大学側のほうでこちらの方のほうが適任だというご推薦があったものですから、むげに断るわけにもいかないので。

では、このような内容で参考人招致を進めさせていただきたいと思います。もう少し詳しいのが聴取内容については出てくるかと思いますので、よろしくお願いします。

以上でよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）では続きまして、行政視察についてを議題といたします。

正副に一任いただいておりました視察先について、正副委員長手元で調整し、資料のとおりまとめましたので、そちらをお開きください。行程は、令和８年１月26日月曜日から28日水曜日までの３日間です。

１日目は、午後２時から石川県加賀市での視察は、民間防災集団と連携した避難所の生活環境対策についてとし、発災時及び平常時における民間防災集団との連携に関する内容のほか、地域と学校、家庭が連携した取組である防災コミュニティスクール事業についてを聴取項目としたいと思っております。

２日目は、午後２時30分から静岡県三島市での視察は、避難所運営における住民参画及び職員連携についてとし、避難所運営基本マニュアルに関する内容のほか、避難所運営会議、職員意識向上に関する取組についてを聴取項目といたします。

３日目は、午後２時からの東京文京区での視察は、避難所へのタブレット端末の配備に関する内容のほか、学校施設やマンション等の民間施設を活用した避難所の確保についてを聴取したいと思っております。

視察者については、一番下に書いてあります。総務常任委員９名と随行２名の計11名となります。随行の２名は、根尾議事係長と鈴木さんということになります。

また、視察の行程や詳細な質問事項については今後お示ししたいと思いますが、現時点ではこの資料にあるような項目で視察をしてまいりたいと思っております。

行程の都合上、１日目は加賀市に宿泊、２日目は大阪回りで三島市に行って、三島で宿泊になる予定であります。

（後藤善次委員）三島泊は１泊目か。

（石山波恵委員）１泊目は加賀です。

（沢井和宏委員長）１泊目は加賀、２泊目は三島です。

（宍戸一照委員）大雪にならないように願わなくてはならないね。

（沢井和宏委員長）そうなのですね。

（宍戸一照委員）北陸大雪だから。

（沢井和宏委員長）前に大雪で新幹線が遅れてね。

（石山波恵委員）関ケ原のところで大雪でしたものね。

（沢井和宏委員長）それでは、行政視察について、ただいまの案のとおりで実施することにご異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）それでは、この内容で行政視察を実施することと決定いたします。

なお、視察項目については現在も調整中であることから、先方の都合により変更等が生じる場合がありますので、この件については正副委員長にご一任いただければと思っております。よろしくお願いします。

それでは、そのほか委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）なければ、それでは以上で本日の総務常任委員会を閉会いたします。

午前11時36分　　散　　会

総務常任委員長　　沢　井　　和　宏